



医療法人財団 織本病院 広報誌

# 月刊 織本

12

2019年12月1日 vol.304

発行 医療法人財団 織本病院

印刷 〒204-0002  
東京都清瀬市旭が丘 1-261

TEL 042-491-2121

URL <https://orimoto-hp.com/>

発行人 高木 由利



モミジバズカケノキ

## 第15回 リストランテ・ユリ

— もっと真剣に腎不全食に取り組みます —



理事長 高木 由利

街中がクリスマス気分になり、寒いですが華やかな季節が来ました。

\* \* \*

12月5日(木)に慢性腎不全の唯一の治療法である“超低たんぱく食”の食事会、“リストランテ・ユリ”を行いました。この会は、厳密な食事療法を日々行い

自ら腎不全の悪化を食い止めていらっしゃる方々のための会です。

この会に参加されたいお気持ちの方々には大変申し訳なく思っておりますが、純粋な腎不全医療ですのでご理解下さい。

今年は昨年に引き続き、“ドクター由利のお家料理”で、私が日々自宅で作って食べている食事をそのまま特殊食材を使い



おしながき

もりもりピーマンの肉詰め

人参としめじのサクサクかき揚げ  
抹茶塩を添えて

きゅうりと茄子とオクラのからし酢みそ和え

川越産シルクスイートを使ったさつま芋のおこわ

きなこ黒ごまのでんぷんおはぎ

ほうじ茶

---

1人分栄養量

- エネルギー 726 kcal
- たんぱく質 14.2g (動物性たんぱく比 71.6%)
- カリウム 777 mg
- リン 199 mg
- 食塩 2.2g

yuri

RISTORANTE  
DAL 2003  
Dietary management of end-stage renal disease with specialized diet

ながら腎不全食に再現したメニューです。従って、とても簡単であつという間にでき保存も可能なため、院内を走り回って仕事をしながらお料理する私を支える大切なメニューです。

今、世界の腎不全医療が“腎不全患者さんには難しくても無理なので厳密な食事療法はやめましょう”方向にまっしぐらに進んでいる現実を皆様はどう思われますか？私達医師、栄養士は、患者さんには無理という

おぞましいレッテルを貼る権利も資格もないはずです。おいしくて楽しく、そして腎不全の悪化を食い止めるため一緒にステキな腎不全食を作る活動に参加して下さい。

皆様、今年1年、月刊織本を応援して下さいありがとうございました。残り少ない2019年を元気に過ごして下さい。

## 旭が丘団地 秋のフェスティバル



11月3日 文化の日に、毎年恒例の『旭が丘団地 秋の

フェスティバル』が開催されました。このフェスティバルはとても活気のある行事で、たくさんの美味しいものやステキな手芸品などの出店、フリーマーケットやフラメンコダンスなど、自治会の方々はもちろん、皆さん本当に生き生きと楽しそうにされているのが印象的です。

今年も織本病院は、健康相談ブース（血圧・血糖測定、からだスキャン、栄養相談など）、チャリティーバザー、健康体操、バルーンアート、更には、当院職員で結成されたバンド、ザ・ショクインズによるミニコンサートと盛り沢山で参加させて頂きました。総勢 27 名



施設管理課  
並木 麻由美



健康相談ブース



マメザイルによる健康体操



子供達に大人気のバルーンアート



チャリティーバザー



ザ・ショクインズによるミニコンサート

の職員が参加し、地域の皆様との交流を深めることができました。

当院がこのフェスティバルに参加させて頂くのは、地域の皆様と顔の見える関係を作りたいという思いがあります。それは、病気や怪我はもちろん、どんなに些細な症状でも不安があったら気軽に相談できる、頼れる病院があるということを経験の皆さんに感じて頂きたいという思いからです。

今年のフェスティバルは例年以上の盛り上がりを見せており、ザ・ショクインズの懐かしい曲にのって踊って下さったり、迫力のフラメンコに魅了されたり、元気に体操をしたりとたくさんの笑顔で会場は活気に満ち溢れていました。

私はバザーを担当させて頂きましたが、皆さんが気軽に声をかけて下さり、他のお店を出されている方々からも応援して頂き、とても楽しい時間を過ごすことができました。今後も地域の皆様の健康に少しでもお役に立てるよう、精進していききたいと思います。



臨床工学科  
主任 村田 昂平

11月10日（日）  
に恒例の『透析セン  
ター秋の懇話会』が

開催され、今年は患者様33名、ご家族8名の計41名の方々がご参加下さいました。

私は、今回初めて企画から当日の運営まで担当させて頂き、普段診療をする中でスタッフから患者様へお伝えしたいこと、また患者様がどのような情報を望まれているかを改めて考えるきっかけとなりました。

当日は、4月に入職した新卒の臨床工学技士3人による除水誤差や体重管理について、小澤管理栄養士による透析患者様向けの食事のワンポイントアドバイスやレシピの紹介など、普段の患者様の自己管理に繋がる発表を行いました。そして今年初めての試みとして、当日参加された患者様の中から『自己管理優秀賞』の表彰式を行いました。血液検査部門と体重管理部門のそれぞれ上位5名の方、お一人おひとりに表彰を行い、皆様とても喜んで下さいました。受賞された方もそうでない方も、これからの自己管理の励みとなって頂けましたら嬉しく思います。そして最後には全員が楽しめる企画としてビンゴ大会を行い、会場は大変盛り上がりしました。

今年も施設管理課や栄養科の協力を得て、透析センタースタッフが丸となりこの懇話会の準備を進めてきました。また来年も皆様に喜んで頂けるような懇話会を開催できるよう、そして患者様に日頃から笑顔で安心して透析医療を受けて頂けるよう、スタッフ一同協力し合って頑張っていきたいと思います。

ご参加下さった皆様、ありがとうございました。

## 透析センター秋の懇話会



ORIMOTO HOSPITAL

# クリスマス 夢コンサート 2019



## Program

【織本混声合唱団】

アヴェ・ヴェルム・コルプス

春よ、来い

北の国から／天までとどけ

未来へ

さよなら

君をのせて

小さな空

星に願いを

【ザ・ショクインズ】

真っ赤な太陽

【ビッグバンド】

聖者の行進

その他ゲスト多数



2019年 12月14日(土)

13:30 開場 14:00 開演

オリモトホール(織本病院4F)

予約不要 入場無料

## 訂正とお詫び

いつも月刊織本をご愛読いただき、ありがとうございます。先月発行の月刊織本 11月号に掲載した『腎疾患・糖尿病ゼミナールからのお知らせ』に間違いがございましたので、訂正しお詫び申し上げます。

【訂正箇所】 (誤) 来年1月10日(木)の新春特別講演会 → (正) 来年1月9日(木)の新春特別講演会